

八戸市国民健康保険運営協議会

会 議 録

日 時 : 令和6年3月19日(火)

午後1時00分～午後1時20分

場 所 : 八戸市公民館2階 会議室1～3

八戸市国民健康保険運営協議会記録

令和6年3月19日(火) 午後1時00分～午後1時20分 八戸市公民館2階 会議室1～3

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 会議録署名委員選出
- 4 議 事
 - (1) 令和6年度八戸市国民健康保険特別会計予算の概要について
 - (2) 第3期データヘルス計画(最終案)及び第4期特定健康診査等実施計画(最終案)について
- 5 閉 会

出席委員 (15名)

被保険者代表 (4名)

青井 貴子 委員
佐々木 智子 委員
大塚 明子 委員
村元 正彦 委員

医師等代表 (4名)

松橋 英昭 委員
袴田 真理子 委員
谷地 泰美 委員
片町 善之 委員

公益代表 (5名)

坂本 美洋 委員—会長
五戸 定博 委員—会長職務代理者
梅内 昭統 委員
橋向 久美子 委員
松浦 芽久美 委員

被用者保険等保険者代表 (2名)

石田 徹 委員
竹ヶ原 浩人 委員

欠席委員 (3名)

被保険者代表 (1名)

中村 喜夫 委員

医師等代表 (1名)

工藤 祐喜 委員

被用者保険等保険者代表 (1名)

本田 秀明 委員

出席職員 (7名)

磯嶋 美徳 市民環境部長
夏坂 一史 市民環境部次長兼国保年金課長
高橋 ひとみ 国保年金課副参事 (管理給付グループリーダー)
鈴木 俊博 国保年金課副参事 (後期高齢者医療グループリーダー)
慶長 利子 国保年金課参事 (国保税グループリーダー)
上野 千穂 国保年金課主幹
工藤 圭 国保年金課主査

傍聴者なし

[午後1時開会]

●司会 ただいまより、令和5年度第3回八戸市国民健康保険運営協議会を開会いたします。

本日の出席委員は15名で、欠席委員は、中村委員、工藤委員、本田委員の3名でございます。本日は、委員の過半数が出席しており、且つ、各代表委員が1名以上出席しておりますので、八戸市国民健康保険運営協議会規則第3条の規定により、会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

●司会 続きまして、坂本会長より一言ご挨拶をお願いいたします。

●会長 委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、年度末の時でございますが、お越しいただきましてありがとうございます。

皆様にご案内しておりますように、今日は令和6年度八戸市国民健康保険特別会計予算案のご審議をいただき、4月1日以降から活動していくということになりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

申すまでもなく、国民健康保険制度があることによって、国民全員が皆保険制度に入れるわけで、この国保制度というのは世界でも日本しかやっていない制度でございます。一部では戦前から国保制度があり、昭和36年4月からは全国で施行されております。

この制度を安定的に運営していくためには、収納率をできるだけ100%に近づけていかなければならないと思っております。まだまだ100%にはなっていないという現状もございますが、それらも含めまして、八戸市民にとって非常に国保が良いなというような制度を守りながら、さらに使いやすいようにして参りたいと思っておりますので、委員の皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

●司会 それでは、この後の進行につきましては、坂本会長よろしくお願ひいたします。

●会長 それでは、次第に従いまして進行させていただきます。次第の3、会議録署名委員の選出ですが、選出につきましては、会長に一任いただきたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

●一同 異議無し。

●会長 ご異議無しということでございますので、私の方から、大塚委員と谷地委員にお願いをしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

●会長 それでは、議事に入ります。(1)令和6年度八戸市国民健康保険特別会計予算の概要について、事務局から説明をお願いいたします。

●上野主幹 はい。

●会長 上野主幹。

●上野主幹 私からは、令和6年度八戸市国民健康保険特別会計予算の概要につきまして、ご説明いたします。資料1-1と、資料1-2、各科目の説明を記載いたしました、横版の参考資料1-1をあわせてご覧いただければと思います。

令和6年度の予算総額は214億4410万円で、5年度当初と比較し、5億1190万円、2.3%の減額となっております。

それでは、資料1-1上段の歳入の項目からご説明いたします。

まず、国民健康保険税でございますが、令和6年度の予算額は32億8163万2000円で、被保険者数の減少等により、前年度と比較し1億9836万8000円、5.7%の減額となっております。

次の県支出金は154億6824万5000円で、前年度比5億1748万8000円の減額となっております、市の医療

費の実績に応じ、県から交付金が交付される普通交付金が主なものでございます。

次の繰入金は、26億1142万円で、前年度比2億604万7000円の増額となっており、国の基準に基づき、市の一般会計から繰入れする一般会計繰入金と、国保特別会計財政調整基金から繰入れする基金繰入金でございます。

次の諸収入は、8003万1000円で、保険税の延滞金のほか、交通事故等の第三者納付金、医療費の返納金が主なものでございます。

次のその他は、277万2000円で、保険税の督促手数料や市が保有する国保特別会計財政調整基金の利子収入が主なものでございます。

次に、資料下段からの、歳出につきましてご説明いたします。

まず、総務費でございますが、令和6年度の予算額は、3億6610万1000円で、職員の人件費や、国保運営に要する事務経費のほか、青森県国保連合会に対する負担金、納税貯蓄組合に対する事務費補助金、国保運営協議会の運営に要する経費などがございます。

次の保険給付費は、被保険者の診察・治療費等に対する療養給付や高額療養費のほか、出産育児一時金、葬祭費の支給などに要する経費で、151億3823万7000円を計上しております。

次の国民健康保険事業費納付金は、県が医療費の推計を基に、市町村ごとの医療費水準や所得水準を考慮し決定したもので、前年度より84万3000円増の57億5220万3000円を計上いたしました。

次の保健事業費は予算額1億6446万円で、特定健康診査や国保人間ドック、医療費通知に要する経費が主なものでございます。

次の諸支出金は2300万円で、保険税の過誤納金還付金でございます。

次のその他は9万9000円で、国保特別会計財政調整基金の利子分を積み立てるものでございます。

以上、令和6年度予算の概要でございましたが、団塊世代が令和6年度で国保から後期高齢者医療へ移行完了するものの、国では被用者保険をさらに適用拡大しようと政策を進めており、今後も被保険者数の減少が見込まれ、税収の確保は依然として厳しい状況が続くものと想定しておりますが、医療費適正化の推進を継続するとともに、財政運営の責任主体である県と引き続き連携を図りながら、安定した国保財政の運営に努めて参りますので、委員の皆さまにおかれましては、引き続き、ご理解・ご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、参考資料1-2につきましては、青森県の国保運営協議会の先月6日に開催された資料の一部でございます。先ほど歳出のところでご説明いたしましたが、県に対して納付金を納めることになっているもので、資料の中に県内40市町村の納付金の金額等が掲載されております。参考までにということで、後ほどご覧いただければと思います。なお、令和6年度の納付金について県からの通知が当初予算編成までに間に合わなかったため、今後、予算を補正し対応していくこととしております。

説明は以上でございます。

●会長 ただいま事務局から説明をいただきましたが、この説明に対し、委員の皆様からご意見、ご質問等をお受けしたいと思っております。何かございますでしょうか。

●一同 なし。

●会長 ないようですので、ただいまの(1)令和6年度八戸市国民健康保険特別会計予算の概要については、了解いただいたものとして取り計らいます。

続きまして、(2)第3期データヘルス計画（最終案）及び第4期特定健康診査等実施計画（最終案）に

ついて、事務局から説明をお願いいたします。

●工藤主査 はい。

●会長 工藤主査。

●工藤主査 それでは、八戸市国民健康保険第3期データヘルス計画（最終案）及び第4期特定健康診査等実施計画（最終案）について、ご説明いたします。お手元の資料2-1をご覧ください。

当計画についてでございますが、昨年11月に開催されました第2回国保運営協議会において、案を委員の皆様にご説明し、ご意見等をいただきました。さらに庁内関係各課からの意見を踏まえ、最終案としてまとめました。

案との主な変更点は個別保健事業及び特定健診等の実績を4年度最終実績に更新するものです。その他の変更点につきまして、ご説明いたします。

資料2-2の2ページをご覧ください。「2 計画の位置付け」において、上位計画である八戸市総合計画に則して策定することを追記いたします。また、同ページに「3 計画の標準化の推進」を追記し、青森県内市町村の把握すべき共通指標の設定の経緯について説明を追記いたします。

2ページから3ページに渡りまして、「4 計画期間」の表について、健康づくり推進課で策定する「健康はちのへ21」の計画名を「第3次八戸市健康増進計画」に、計画期間を18年度までに修正の上、表を差替えております。

24ページに参りまして、年代別・男女別の医療機関等受診率（令和4年5月受診分）のグラフに誤りがあったため差替えております。

32ページに参りまして、県の共通指標である「HbA1cが8.0%以上の者の割合」及び「血圧有所見者の割合」のグラフを追記しております。

42ページに参りまして、表「計画全体の目的・目標値」のうち、A特定健診及び特定保健指導実施率の向上において、評価指標の「40～64歳の割合」、「65～74歳の割合」をそれぞれ「40～64歳の実施率」、「65～74歳の実施率」に、特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率につきましては、それぞれ「40～64歳の減少率」、「65～74歳の減少率」に修正いたします。

47ページに参りまして、事業番号3 国保人間ドックのアウトプット目標について、ハガキ勧奨回数を3回から2回以上に変更いたします。

48ページに参りまして、事業番号4 元気応援！お得ーポン事業のアウトカム指標のうち、「アンケートで今後も利用したいかの回答率」を「アンケートで健康づくりのきっかけとなったかの設問で「なったと」回答した割合」に修正いたします。

49ページに参りまして、事業番号5 看護師による早期受診・重症化予防のための訪問指導事業のアウトプット指標の低栄養傾向にある者への指導人数について、2022年度の実績に誤りがありましたので10人から0人へ修正いたします。

55ページに参りまして、事業番号10 市民健康づくり講座事業につきまして、健康づくり推進課からの意見を踏まえ、アウトカム指標のうち、健康意識の向上率の目標値を95%から90%に、アウトプット指標の実施回数を7回から9回に変更いたします。また、カッコ内の記載について「禁煙」から「禁煙あるいはCOPD」に、歯科の講演の実施回数を1回から2回に変更いたします。

56ページに参りまして、事業番号11 各地区健康教室事業につきまして、健康づくり推進課からの意見を踏まえ、アウトプット指標実施回数200回以上を90回以上に変更いたします。

57 ページに参りまして、事業番号 12 歯周疾患検診事業につきまして、健康づくり推進課からの意見を踏まえ、現在までの事業結果を「クーポン送付回数」から「無料受診券の送付」に、アウトプット指標を「送付回数」から「送付回数（受診券1回、再勧奨1回）」に修正いたします。また、現在までの実施方法（プロセス）を「無料受診券を4月に送付する。再勧奨ハガキを11月に送付する。」に、現在までの実施体制（ストラクチャー）の「クーポンの送付」を「受診券の送付」に修正いたします。

その他、各ページにおいて誤字脱字等を修正し、今回の最終案としております。

計画の推進につきましては、八戸市ホームページにおいて当該計画を公表し、被保険者及び関係機関等へ周知して参ります。また、計画の中間年度に当たる令和8年度に中間評価を行い、目標値等を見直しながら、最終年度に当たる令和11年度に計画全体の見直しを行い、令和12年度以降の次期計画の策定につなげて参ります。

以上で説明を終わります。

●会長 ただいまの説明に対し、委員の皆様からご意見、ご質問等をいただきたいと思っております。何かございますでしょうか。

●委員 はい。

●会長 委員。

●委員 指標2-2の32ページは新たにグラフが二つ追加というご説明でございましたが、この二つの項目を取って付け足したというのは、何か背景と言いますか、数値的にも八戸市は特にこれを見せた方がよいという背景があったものでしょうか。

●工藤主査 はい。

●会長 工藤主査。

●工藤主査 この二つのグラフを追記した理由につきましては、青森県の共通評価指標の中にこの二つが入っておりますので、それを付け加えたものでございます。

●委員 はい。ありがとうございます。

●会長 他にございませんか。

●一同 なし。

●会長 他にないようでございますので、ただいまの(2)第3期データヘルス計画（最終案）及び第4期特定健康診査等実施計画（最終案）については、了承したものと取り計らいます。

その他、何かございますか。ないようですので、これをもって本日の議事を終了いたします。

本日は、皆様の任期3年間の国保運営協議会委員としての最後の協議会となりました。これまで運営協議会の運営にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

事務局の方でございますが、実は、磯嶋部長、夏坂次長も今年度をもって役職定年を迎えられるということでございますので、この際、磯嶋部長、夏坂次長からそれぞれ一言ずつお願いいたします。

まずは磯嶋部長、お願いします。

●磯嶋部長 皆様、お疲れ様でございました。磯嶋でございます。私からも一言御礼を述べさせていただきます。

今年度も残り少なくなりましたが、皆様のご協力をもちまして、当市の国保事業は円滑に運営できたものと思っております。大変ありがとうございます。

先ほど会長からもお話がありましたとおり、令和3年4月から3年間、当協議会の委員を務めていただ

きました。今期をもちまして退任される委員の方もいらっしゃると伺っておりますが、皆様、これまで八戸市の国保運営にご尽力いただいたことに対して、あらためて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも引き続きご理解とご協力をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

●会長 夏坂次長お願いします。

●夏坂次長 夏坂でございます。私は皆様と一緒に、3年間国保年金課の課長をやらせていただきました。早いものでこの3月末をもって退職ということになります。皆様と一緒に3年間過ごさせていただきまして、大変実りある3年間と思っております。大変ありがとうございました。

●会長 磯嶋部長、夏坂次長、長い間大変お疲れ様でございました。それでは、これをもちまして本日の運営協議会を閉会いたします。ご協力、誠にありがとうございました。

[午後1時20分 閉会]